

## 平成25年度 第4回市政モニター・アンケート調査結果

### ■ 調査テーマ

「公共施設マネジメントについて」

平成 24 年 12 月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、全国的にインフラ(道路や橋など)や公共施設の老朽化が社会問題となっております。他都市と同様に、長崎市も、高度経済成長期にあわせて多くの公共施設を整備してきました。これに加え平成 17 年、18 年の市町村合併により、合併町の多くの施設を引き継ぎました。

今後、これらの施設は、同じようなタイミングで建て替えや大規模改修などの更新時期を迎えます。しかし、人口が減少し、財政状況が厳しいなか、すべての公共施設を現在の規模のまま更新することは不可能な状況です。

そのため、今後、到来する集中的な更新時期に備え、施設の適正な配置と規模への見直しを行う必要があります。

そこで、長崎市は、これらの諸問題に対応していくため、効率的な公共施設の管理運営を推進する「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。この公共施設マネジメントについての調査を行い、今後の事業の検討材料として有効活用させていただきます。

(所管課:資産経営室)

### ■ 調査期間

平成25年9月24日(火)～10月7日(月)

### ■ 調査方法

対象・人数	市政モニター 207人
調査方法	書面・インターネットを通じてアンケートに回答
回収率	調査対象207人に対して 有効回収数 142人 有効回収率 68.6%

### ■ 調査結果

今回の調査では、長崎市が「公共施設マネジメント」に取り組んでいることが、市民の皆さまにまだ十分に知られていないという結果になりましたが、一方で、施設の統廃合や複合化に取り組み、適正な配置と規模に見直していく必要があるという考え方には多くの方々が「賛成」または「どちらかという賛成」という意見であることが分かりました。

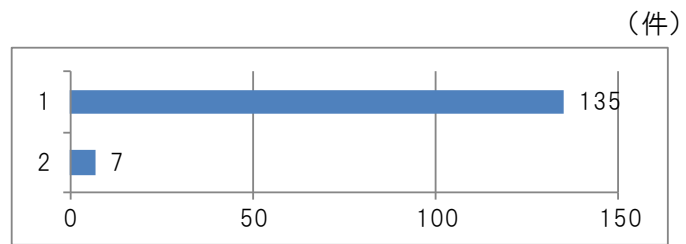
今後は、長崎市の公共施設マネジメントの取り組みを知っていただくとともに、その意義をより理解していただけるよう、広報紙を活用して特集を組んだり、地域へ出向いて講座を開催するなど、周知・啓発活動を行い、市民の皆さまと一緒に考えながら、公共施設マネジメントを進めていきたいと考えます。

○年齢・性別について

	男性	女性	合計
20歳代	4	9	13
30歳代	11	13	24
40歳代	7	23	30
50歳代	13	12	25
60歳代	16	13	29
70歳以上	16	5	21
合計	67	75	142

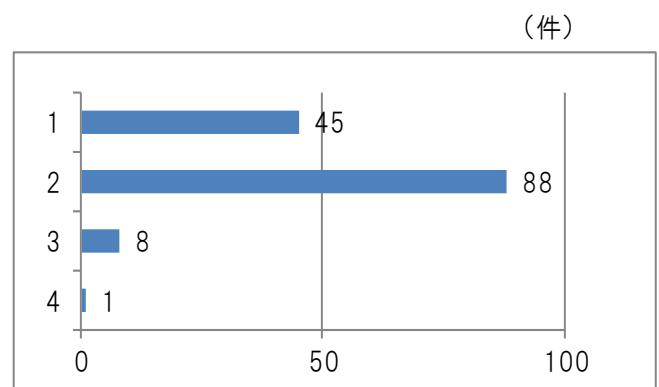
問1 平成 24 年 12 月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和 40～50 年代の高度経済成長期に整備されたインフラ(道路や橋など)や公共施設が老朽化し、全国的な社会問題となっていることをご存じでしたか。

	件数	割合
1 はい	135	95.1%
2 いいえ	7	4.9%
合計	142	100.0%



問2 あなたが公共施設を利用する頻度を教えてください。

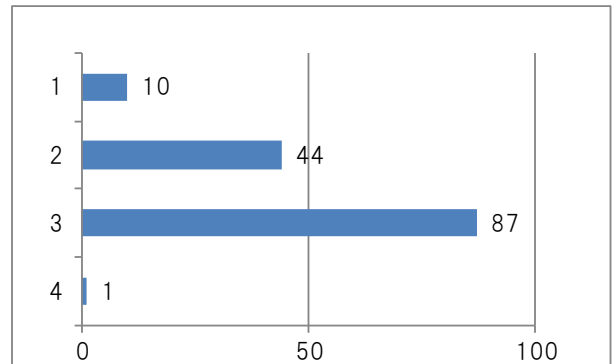
項目	件数	割合
1 よく利用する	45	31.7%
2 たまに利用する	88	62.0%
3 まったく利用しない	8	5.6%
4 無回答	1	0.7%
合計	142	100.0%



問3 人口の減少や厳しい財政状況の中で、施設の更新をどのように行うかが大きな課題となっています。そこで長崎市は、公共施設白書(市有施設の情報を取りまとめたもの)や、公共施設マネジメント基本計画(今後の取り組み方針 ※長崎市ホームページ公開中)を策定し、公共施設マネジメントに取り組んでいます。このことをご存じでしたか。

(件)

項目	件数	割合
1 白書または基本計画の存在を知っている	10	7.0%
2 白書または基本計画の存在は知らなかったが、長崎市が施設の更新の問題に取り組んでいることは知っている	44	31.0%
3 知らなかった	87	61.3%
4 無回答	1	0.7%
合計	142	100.0%

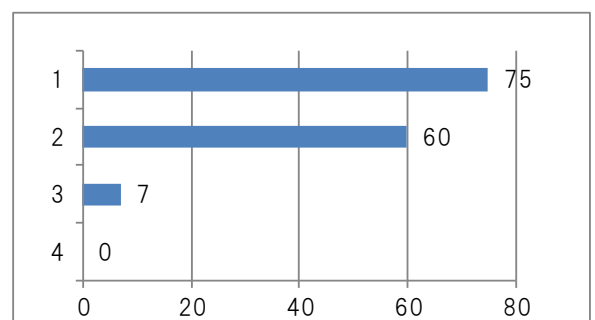


6割を超える方が、長崎市が公共施設マネジメントに取り組んでいることをご存じありませんでした。今後は、市民の皆さまにも一緒に考えていただけるよう周知活動に力を入れていきたいと思ひます。

問4 施設の更新や維持管理には多額の費用がかかるため、今ある全ての公共施設をそのまま維持するのは難しくなると思われます。施設の統廃合や複合化(施設の多機能化)に取り組み、適正な配置と規模に見直して、真に必要な性の高い公共サービスを維持していく必要があると考えます。この考え方についてどう思われますか。

(件)

項目	件数	割合
1 賛成である	75	52.8%
2 どちらかといえば賛成である	60	42.3%
3 どちらかといえば反対である	7	4.9%
4 反対である	0	0.0%
合計	142	100.0%

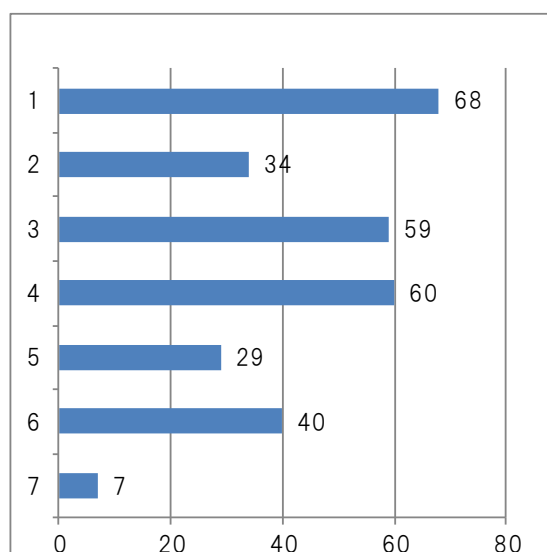


95%を超える方が「賛成である」または「どちらかといえば賛成である」を選択されています。しかしながら、4.9%の方が「どちらかといえば反対である」を選択されており、今後は反対されている方にも理解していただけるよう、広報紙を活用して特集を組んだり、地域へ出向いて講座を開催するなどの、周知・啓発活動に取り組みます。

問5 「問4」で「1」または「2」とお答えになった方は、どのような施設の統廃合や複合化を行うとよいと思われますか。あてはまるものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由に記載してください。

(件)

項目	件数	割合
1 利用者が少ない施設	68	22.9%
2 特定の個人・団体に利用が固定化している施設	34	11.4%
3 建物・設備が古くなっている施設	59	19.9%
4 維持管理費用がかかり過ぎている施設	60	20.2%
5 交通の便が悪い場所に立地している施設	29	9.8%
6 同様の使い方をしている施設が近隣にある施設(重複している類似施設)	40	13.5%
7 その他	7	2.4%
合計	297	100.0%



「利用者が少ない施設」「建物・設備が古くなっている施設」「維持管理費用がかかり過ぎている施設」が2割ずつを占めていますが、どの項目も分散して選択されており、今後、統廃合や複合化を進める際には、多角的な視点で、各施設の現状をしっかりと把握し、総合的に検討して行く必要があると感じました。

問6 「問4」で「3」または「4」とお答えになった方は、その理由をお聴かせください。

- ・費用対効果を考慮すべき。
- ・既存の施設をつぶしたり、統廃合するのはもったいない。
- ・施設の多機能化といえば、いいように聞こえるが、中途半端になる可能性がある。
- ・「必要性が高い」という意味は、協議する人、環境、考え方によって難しいと思う。
- ・坂のまちは不便であるので、「適正な配置」は平等の観点に立つことが重要である。
- ・以前、交番の統廃合が行われたが、安全安心や利便性が失われたため、またそのような事が起きるかもしれないと思う。
- ・必要だと思うが、慎重にやらなければ、市民との意識の差が出てしまうと思うので、早急にや大規模に行うのは反対である。

公共施設の再配置にあたっては、様々なご意見をいただきながら、利用者や地域の皆さまとの合意形成に努めてまいりたいと考えています。

問7 長崎市の公共施設の老朽化問題について、ご意見がございましたらご記入ください。

- ・新興善小学校を市立図書館にしたのは、とてもよかったですと思います。初めは反対する市民の方もいらっしゃいましたが、結果的には多くの方が利用するようになり、良かったと思います。今後も公共施設の見直しを進めるべきだと考えます。
- ・今現在危険な建物を何もせずに放置し、事故が起きた場合、だれが責任を負うのだろうか。維持管理で余分な税金が使用されているなら、統廃合や複合化をするしかない。
- ・経済状況がよろしくない以上、使えるものは修理をして使うべき。
- ・インフラや公共施設は、老朽化前に補修、メンテしながら長持ちさせる考え方をしてほしい。
- ・地震対策がなされていないものは、取り壊すのではなく対策する。
- ・老朽問題は重要なので、コスト面を考えながらもしっかりやってほしい。
- ・お金がかからないようにしてほしい。税金だし。
- ・改修して使うにしても、廃止するにしても、もったいなくない方法で、もったいなくない結果になることを期待します。
- ・使用頻度の高いところから、新しくするか、場所を行きやすいところに移す。
- ・利用者が多ければ、存続OK。利用度が低ければ解体もやむなし。
- ・利用者が少ないものは、思い切って対処した方が良いと思う。
- ・老朽化も問題ですが、あまり使われてない施設をどう活用するかということも大切であると思います。
- ・固定利用ではなく、広くみんなが利用できる取り組みと、交通網・駐車場の整備。
- ・安全性の問題がないのであれば、状況に合う使用方法を幅広く考え、有効活用できればよいと思う。
- ・新しく建設するのではなく、今ある建物をリニューアル(リフォーム)させた方が良いと思う。または、市内には空き物件が多く、一から新しい建物を造らない方が有効活用だと思う。
- ・老朽化した施設は金も人もかかり、維持管理も大変です。費用対効果の面を重視してもらい、できることなら更地にして民間へ払い下げて税収増へ向けて努力してもらいたいと思う。
- ・「ハコもの行政」と言われないよう老朽化→即建て替えではなく、他施設への機能統合・土地売却など、いろんな選択肢を検討し、その過程を市民へオープンにしてはどうか。
- ・真に必要なものを見極め、説明を分かりやすくしてほしい。統廃合に全て反対すべきでない。
- ・老朽化での危険性、維持の困難さなどを10段階評価などして、透明性のあるかたちで示したのちに、統廃合を行ってほしい。
- ・無駄が生じないよう、削減できる部分は明確な論拠を持って、予算を切り詰めながら、真に必要な施設を長期的な見通しを持って、計画・実行して行ってほしい。必要なことは、その見通しの上立った早急な現状把握であり、事前の十分なヒアリングと説明会である。
- ・老朽化は個々に検討状況を情報公開して市民の声を聞くことが重要。
- ・組織のスリム化とともに、統廃合によって必要なものが必要な人に必要とされるように、地域の人々の声を広く聞いていただきたい。
- ・施設問題を考える時、実際に利用している人で、広く日本中のことを知っている人を選ぶべき。
- ・災害でライフラインが停止した場合や避難所の確保を考慮すれば、より良い環境が望まれる。
- ・人口が増える政治を行えば、すべて解決すると思う。
- ・アベノミクスの成功が鍵。
- ・県と協力して進めてください。
- ・統廃合するのは仕方ないと思うが、今利用している人のことを考えてしてもらいたいと思う。特に高齢者

は、施設が遠くなると行きづらいと思う。今の状態からより良いものにしてほしい。

- ・障害者や高齢者が利用しやすい施設に改善してほしい。
- ・建物設備が古くなっている施設は、再建してほしい。
- ・老朽化に伴う見直しは必要だと思うが、市中心部から離れた町人口が少ないところを、利用者が少ないという点のみで統廃合してほしくない。
- ・老朽化しているものをやたらに処理するのも考えものだと思います。歴史的にも角度を変えてみると、生かしてる方がいいものもあると思います。
- ・軍艦島の世界遺産登録へ向けてお金をかけて整備していくと思うが、それよりも先にもう少し市民のためになる場所への投資が先だと思う。
- ・長崎に住んでもらうために、リタイアした人たちが住みたくなる町づくりをしてはどうかと思う。そのために文化施設を東京の一流の人たちからも満足してもらえるものを造るべき。
- ・橋、道路、住宅も含めて 60～70 年代に建設されているものが多く、老朽化、空き家化が進んでいる。国土強靱化法の制定施行に並行して計画を変更した方が良い。
- ・汚いトイレはなくてよいと思う。そして、きれいなトイレを必要なところへつくる。
- ・公務員たちが良い施設で働いて不平等。どこかの建物の再利用などでやるべき。
- ・県庁や市役所の跡地活用が問題になっているが、市内に魚市関連施設をつくってはどうか。下関の唐戸市場などは観光客の誘致に役立っているように思う。
- ・島の宿五平太はキタナイ、クサイ、ボロイ。
- ・ブリックホールは音響が悪いと聞いたことがある。市民会館文化ホールは体育館で競技があれば、響くことがある。ホールは多目的な発想よりも、質の良い、サイズが手ごろなものを造ってほしい。
- ・今度、小・中ホールをつくるときは、福岡の「あいれふホール」をまねて造ってほしい。
- ・公会堂は取り壊すとのことですが、建設当時は最先端の建物で 40 数年の歴史があるものです。取り壊さずリフォームして、末永く伝統的建物として保存していく必要があるのでは。
- ・公園、グラウンドの整備がおろそかになっているようです。利用者が少なく、荒れ放題になっているところもあります。フェンスの腐食は危険です。自治会とコンタクトが必要だと思います。
- ・点検は定期的にされているのでしょうか。市民である私には分かりにくいです。
- ・何でこんなものがこんな所にあるのだらうと、老朽化以前の問題として気になる。

「説明を分かりやすくしてほしい」「透明性があるかたちで」「地域の人々の声を広く聞いてほしい」など、市民の皆さまに対する説明や意見聴取の必要性についてのご意見をいただきました。今後は市民の皆さまと協働しながら公共施設問題へ取り組んでいく必要があると感じました。